

第3次佐賀市食育推進基本計画（案）に関するご意見と市の考え方

ご意見	市の考え方
<p>・SDGs の「誰一人取り残さない」という原則より、基本目標1の(3)の“よく噛んで食べる”表現は、何かよりよいものがないかと思えます。例えば、口から食べれない方等のことを考慮して（胃瘻等）・・・よく噛むことの大切さ自体に問題を提起しているわけではありません。</p> <p>・全般的な内容としては、問題なく進めるべきだと感じております。しかし、実現へのロードマップとしては今の情報社会で不十分すぎると思われま</p> <p>す。</p> <p>基本策定の中に盛り込まずとも、世代間に合わせた情報発信や共有（YouTube・インスタなどのSNS）そこからの体験に至るプロセスが必要なのかなと思えます。またこの食育を通して農業の再活性化につなげることも可能かと思えます。食育も大いにDX行うべきだと考えます。食育が本当の意味で佐賀市民に根付き、関心を持ち、企業も目を向け独自のサービスができていくなど産業への広がりもできれば、佐賀市民は健康も獲得でき、全国でも注目を浴びるまちづくりも手に行けるのではないかとと思えます。</p>	<p>第3次佐賀市食育推進基本計画は、国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進することを目的とした「食育基本法」に基づくもので、国の第4次食育推進基本計画と整合を図りながら、全ての市民を対象として策定しております。</p> <p>「よく噛んで食べる」という表現については、国計画の目標の1つに「ゆっくりよく噛んで食べる」というものがあり、国計画と整合を図る観点から、同様の文言を使用しています。国計画において、食育の推進には、国や地方公共団体など関係者が共通の目標を掲げ、取り組むことが有効とされていることから、国の目標に合わせた表現とさせていただいています。</p> <p>計画に基づく事業の進め方としては、「健康、連携、環境、地産地消、体験」といった基本目標の各分野において、情報化の進展なども踏まえ、現代社会に即した形で取り組んでいきたいと考えております。また、現在も健康面では健康寿命の延伸化、地産地消では農業振興等を目指す取り組みの一環として、食育を進めておりますので、今後も食育を取り巻く環境の進展に寄与するよう取り組んでいくとともに、市民に食育が浸透し、実践へと繋がるよう努めていきたいと考えております。</p>